

# 島根

殿町の  
**松本歯科医院**

松江市殿町368

院長 松本 京子  
☎(0852)213159

☒南殿町駐車場です

松江総局

## 「もう1人のハーン」

### 名はカルシユ



フリッツ・カルシユ博士若松秀俊教授提供

1925年から約14年間、旧制松江高校(現・島根大)

で、ドイツ語を教えた哲学者フリッツ・カルシユ博士(1893~1971)の業績を伝えたいと、同博士の遺品を保管する東京の大学院教授が、松江市内で博士が住んだ旧外国人宿舎の保存を訴えている。世界に日本を紹介した小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)に対し、カルシユ博士は県と欧州の窓口になった「もう1人のハーン」とし、県民に広く知ってもらいたいという。(金井信義)

宿舎の保存を訴えてい  
るのは、東京医科歯科大  
大学院の若松秀俊教授。  
若松教授は99年9月、国  
際会議でドイツを訪れた

際、カルシユ博士の次女  
と知り合った。アメリカ  
に住む長女や教え子らか  
ら博士の足跡をたどるう  
ち、当時の生徒らが慕う  
博士の人柄にひかれた。  
松江高校時代の教え子  
に、長崎で被爆しながら  
献身的な医療活動を通  
け、「長崎の鐘」などの  
著書で知られる永井隆博

### 東京の大学院教授訴え

## 旧制松江高で独語教え、欧州の窓口



カルシユ博士らが住んでいた旧外国人宿舎松江市奥谷町で

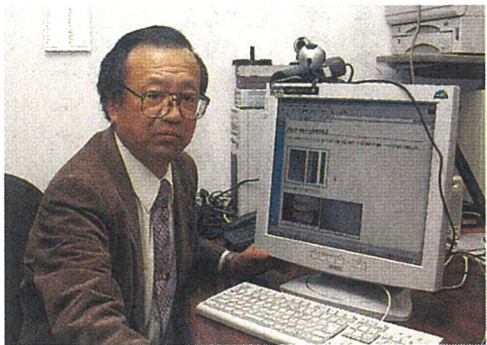
## 「功績」外国人宿舎保存と共に

旧外国人宿舎は、松江  
市奥谷町にあり、木造2  
階建て、延べ約140平  
方メートル。24年に完成し、外  
国人教師の宿舎として使  
われていた。島根大の教  
員宿舎になり、66年から  
独身職員の宿舎として使  
われていたが、老朽化が  
進んで5年ほど前から空  
き家になっている。

また、若松教授が博士  
の家族から託されて保管  
している約1万4千冊に  
上る哲学の研究ノート、  
博士が松江周辺の風景を  
描いたパステル画約85  
枚、撮影した写真約50  
0枚など、当時の松江周  
辺の様子を示す貴重な資  
料があるという。これら  
も宿舎での保存などを求  
めている。

若松教授は「八雲は、  
日本を世界に紹介した功  
労者。カルシユ博士は、  
生徒や住民らとの交流を  
通じて、松江とヨーロッ  
パの文化の窓になった。  
各界のリーダーとなった  
若者に多大な影響を与え  
た功績も大きい。宿舎を  
記念館に改装し、資料と  
共に保存してほしい」と  
話す。

島根大の保母武彦副学  
長は「老朽化し、現状の  
ままでは活用できない。  
博士の業績や近代建築と  
しての価値を調べ、修復  
すべきかどうかを検討し  
たい」と話している。



「カルシユ博士の功績を  
知ってほしい」と話す若  
松秀俊教授東京都内で